

子宮移植研究 審査委が承認

慶大

慶応大学病院は27日、病
気により子宮がない女性
が、出産を目的に第三者か
ら提供を受ける子宮移植の
臨床研究計画について、学
内の審査委員会が承認した
と発表した。移植が行われ
れば国内では初めてとなる
が、今後、同病院内で実施
の可否を検討するという。

研究計画は、同大の産婦
人科医のチームが2022
年11月に同委員会に申請し
ていた。計画によると、生

まれつき子宮がない「ロキ
タンスキー症候群」などの
患者から出産を希望する20
〜30歳代の女性3人を公募
する。夫がいることが条件
で、子宮提供者（ドナー）
は母親など親族に限る。